



## 辻堂地区

### 1 地区の概況と特色

#### (1) 地区の概況

辻堂地区は、藤沢市の南西部に位置し、南は湘南海岸を臨み、東は引地川を境に鵠沼地区と、北はJR東海道本線を境に明治地区と、西は茅ヶ崎市に接する、気候温暖で風光明媚な海沿いの地区です。

地区の面積は4.46km<sup>2</sup>、人口は37,990人（2010年4月1日現在）で全市の9.3%を占めています。また、65歳以上の割合（高齢化率）は、20.6%と高い水準となっています。

かつては半農半漁の村でしたが、明治時代に海軍の演習場が設置されてから別荘や住宅が造られ始めました。大正5年（1916年）には、駅舎用地と建設資金を地元有志が提供するという、当時としては先駆的な形で辻堂駅が開設され、それをきっかけに住宅地として開発されるようになりました。その後、昭和30年代に東京のベッドタウンとして一気に宅地化が進みました。

現在でも、かつての辻堂の中心地であった「四ツ角」（「四ツ辻」という説もある。）の周辺は昔ながらのまちなみが残っています。現在の中心は辻堂駅であると言え、北口で湘南C-X都市再生事業により大規模商業施設が誘致されたのに対し、南口では大型店との共存を目指した商店街づくりに力を入れています。

地区南西部は演習場跡地から、小・中学校、特別支援学校（養護学校）、湘南工科大学、同附属高等学校が集まる文教地区、辻堂団地など計画的な開発がされた場所です。また、東京オリンピックに合わせたインフラ整備の一環として辻堂浄化センターが建設され、下水道についても非常に早い時期から整備が進められてきました。

それ以外の地区の大部分は閑静な住宅地で、特に辻堂太平台や辻堂東海岸などは風致地区に指定され、緑豊かな住環境が保たれています。

JR東海道本線を南北に往き来できる幹線道路が2ヶ所しかないため、夏場の観光シーズンは渋滞が激しく、住民からは新たな縦断道路の整備が望まれています。

#### (2) 地区の特色

湘南海岸はサーフィンを楽しむ人で年中にぎわっています。引地川は水鳥が多く生息し、緑道も整備されているため、サイクリング、ジョギング、散歩などのコースとして親しまれています。また、防砂林や屋敷林、点在する松があり、身近な場所に水とみどりのある環境となっています。地区内は比較的平坦な地形となっており、移動には自転車が多く利用されています。

地区の南西部にある辻堂海浜公園は、夏に盆踊りやプールでにぎわうほか、1年を通じてさまざまなイベントが開催され、住民に限らず多くの人でにぎわっています。また、長久保公園では、各種のイベントのほか講習会、展示会、即売会など、みどりの普及に関する事業が行われています。

昭和39年（1964年）に入居が始まった辻堂団地は、老朽化等により、現在、都市再生機構による再生事業が進められています。また、旧松下電器産業の関連工場が撤退した跡地の利用についても市と協議する中で検討が進められています。

地区内ではさまざまなお祭りが盛んに開催されていますが、中でも毎年7月下旬に開催される諏訪神社の例大祭は、市の有形文化財である東西南北の4つの町内の山車がお囃子と共に神社境内に宮入りする、地区の一大イベントとなっています。

また、正月の風物詩として全国的に楽しまれている箱根駅伝も、地区を横断するコースを通っており、住民が多く応援に訪れ、年始のあいさつの場にもなっています。

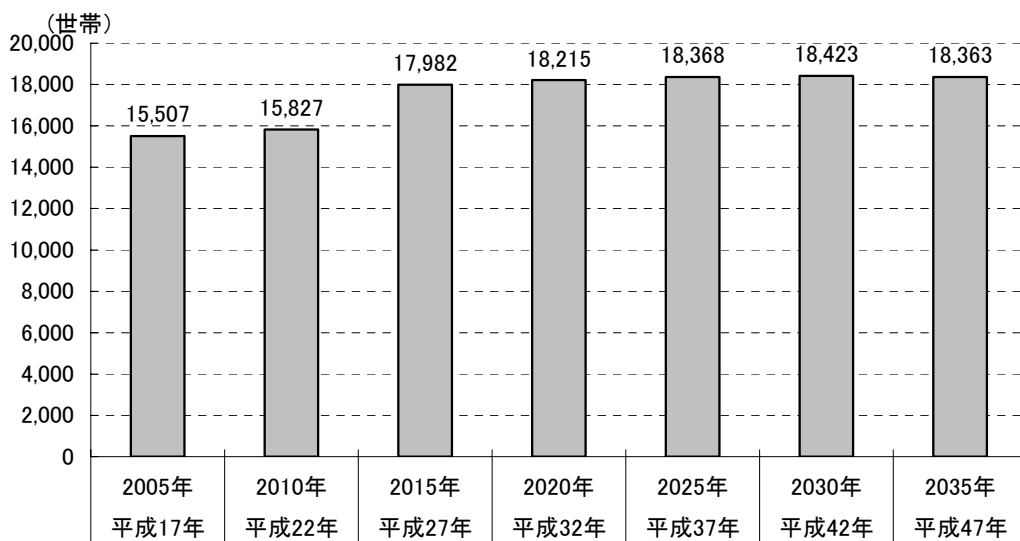
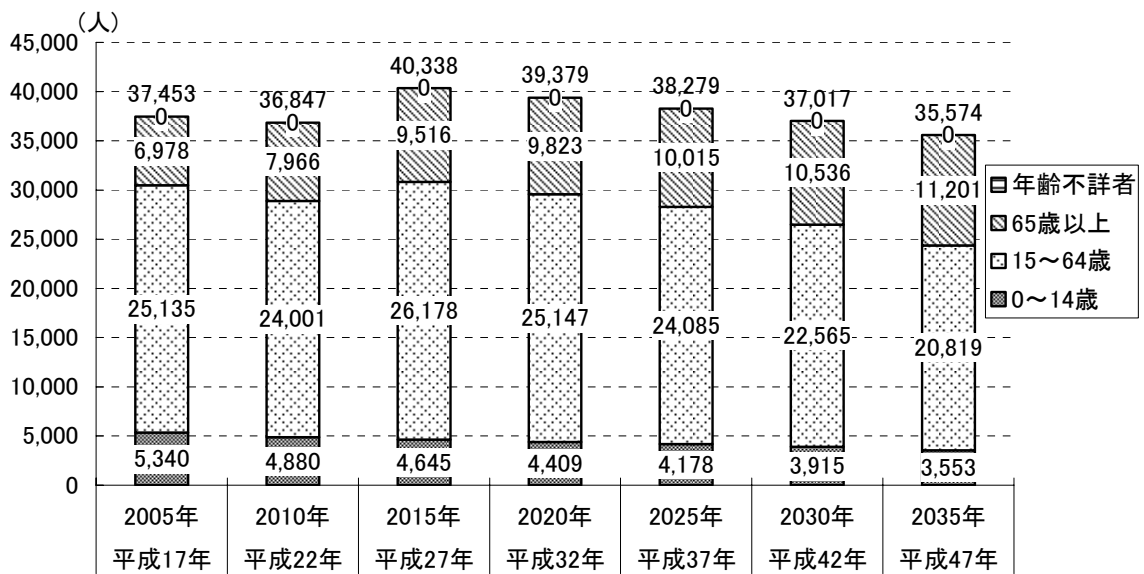
(3) 辻堂地区の人口・高齢化率・世帯数

表 人口・世帯数の推移（辻堂）

	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年	平成32年 2020年	平成37年 2025年	平成42年 2030年	平成47年 2035年
人口	37,453	36,847	40,338	39,379	38,279	37,017	35,574
0～14歳	14.3%	13.2%	11.5%	11.2%	10.9%	10.6%	10.0%
15～64歳	67.1%	65.1%	64.9%	63.9%	62.9%	61.0%	58.5%
65歳以上	18.6%	21.6%	23.6%	24.9%	26.2%	28.5%	31.5%
世帯	15,507	15,827	17,982	18,215	18,368	18,423	18,363

資料：藤沢市将来人口推計

図 人口・世帯数の推移（辻堂）



資料：藤沢市将来人口推計

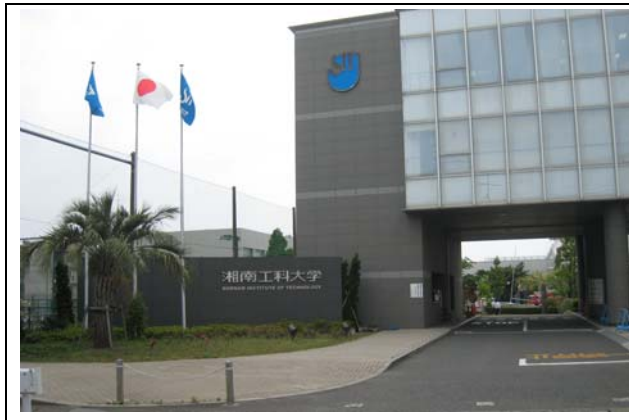
この項にはこれら以外にも、土地利用の構成を示すグラフ等、辻堂地区の基礎データとなる図表を掲載します。

(4) 辻堂地区の地域資源

	<p><b>辻堂海岸</b></p> <p>東に江の島、西に烏帽子岩、伊豆の山々、箱根、富士山と望める海岸で、サーフィンや地引網が行われています。</p> <p>海岸沿いには、サイクリングロードが整備され、夏にはハマヒルガオに彩られます。</p>
	<p><b>引地川</b></p> <p>水鳥が多く生息し、緑道も整備されており、サイクリング、ジョギング、散歩などをする人が多く見られます。</p>
	<p><b>長久保公園</b></p> <p>「都市緑化植物園」の愛称で親しまれており、本市のみどり普及の拠点として春・秋の祭りのほか、みどりに関する講習などが開催されています。</p>
	<p><b>辻堂海浜公園と海浜公園通り</b></p> <p>市民の憩いの公園であり、ジョギングや散歩に多くの市民が集まる公園です。</p> <p>さらに、辻堂駅との間を結ぶ海浜公園通り（辻堂駅南海岸線）と一体となって地区のシンボルとなっています。</p> <p>公園は夏期には、プールが開設され多くの方に利用されています。また、辻の盆、春・秋の祭りをはじめ、イベントも数多く開催されています。</p>



	<p><b>松と調和したまちなみ</b></p> <p>市の木であるクロマツ（黒松）が閑静な住宅地の中や道路脇に保存されています。</p> <p>特に辻堂東海岸や辻堂太平台は風致地区に指定されていることもあり、特に多く見られます。</p>
	<p><b>歴史あるまちなみ</b></p> <p>かつての中心地であった「四ツ角」（「四ツ辻」という説もある。）周辺は、歴史を感じさせるまちなみが残っているところもあります。</p>
	<p><b>辻堂駅前の商店街</b></p> <p>地域で生活する方々の日常の買い物の場であるとともに、景観づくりにも力を入れ、辻堂駅南口の顔となっています。</p>
	<p><b>諏訪神社</b></p> <p>長野県上諏訪、下諏訪の両大社の分神であり、推定、西暦1159年創建以来広く崇拝され『辻堂のお諏訪様』として親しまれてきた神社です。</p> <p>「四ツ角」（「四ツ辻」という説もある。）の近くであり、毎年7月下旬に行われる地区の一大イベントである例大祭の会場となっています。</p>



### 湘南工科大学

地区南西部の文教地区にある工科系の大学で、大学院や附属高等学校も併設されており、災害時には市の避難施設となります。

また、市民公開講座の開催や地域団体と協力して「辻堂地区防災マップ」の編集・発行に協力するなど、地域貢献や連携が図られています。

## 2 地域づくりのテーマ

地域づくりのテーマ

### 歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち“湘南辻堂”

#### 概 要

辻堂地区は、辻堂海浜公園がある南部一帯はかつて広大な砂丘でした。また、諏訪神社東側の「四ツ角」（「四ツ辻」という説もある。）周辺が地域の中心でした。地区内は、温暖、かつ平坦で閑静な住環境が広がっている場所であると共に、歴史が残されている場所です。夏期には特に多くの海水浴客等が訪れます。

地区の歴史や文化を再認識しながら、緑あふれる環境と海岸の自然環境や交通環境をよりよくするため、住民のマナーアップの向上への取り組みや来訪者（観光客）へのマナーアップの呼びかけにより、より良い住環境の実現を図り、市民力によるまちづくりを推進します。

### 3 活動の方向性と活動指標、目標値、役割期待値

#### [活動の背景]

- ・地域活動の担い手が固定され、高齢化が進んでおり、新たな担い手を必要としています。
- ・個々の地域活動は比較的積極的に行われていますが、今後は有機的に連携させ、より効果的な活動としていくことが求められています。

#### [活動の方向性]

##### 市民力

- ・地域活動へ積極的に参加します。

##### 地域力

- ・地域デビューしやすい地域活動のあり方を検討します。
- ・地域で活動する団体のネットワーク化を進め、各団体が連携して継続的に活動できるよう支援します。

##### 行政力

- ・情報提供、活動の場の提供等、地域団体の活動を支援します。

#### [参考情報]

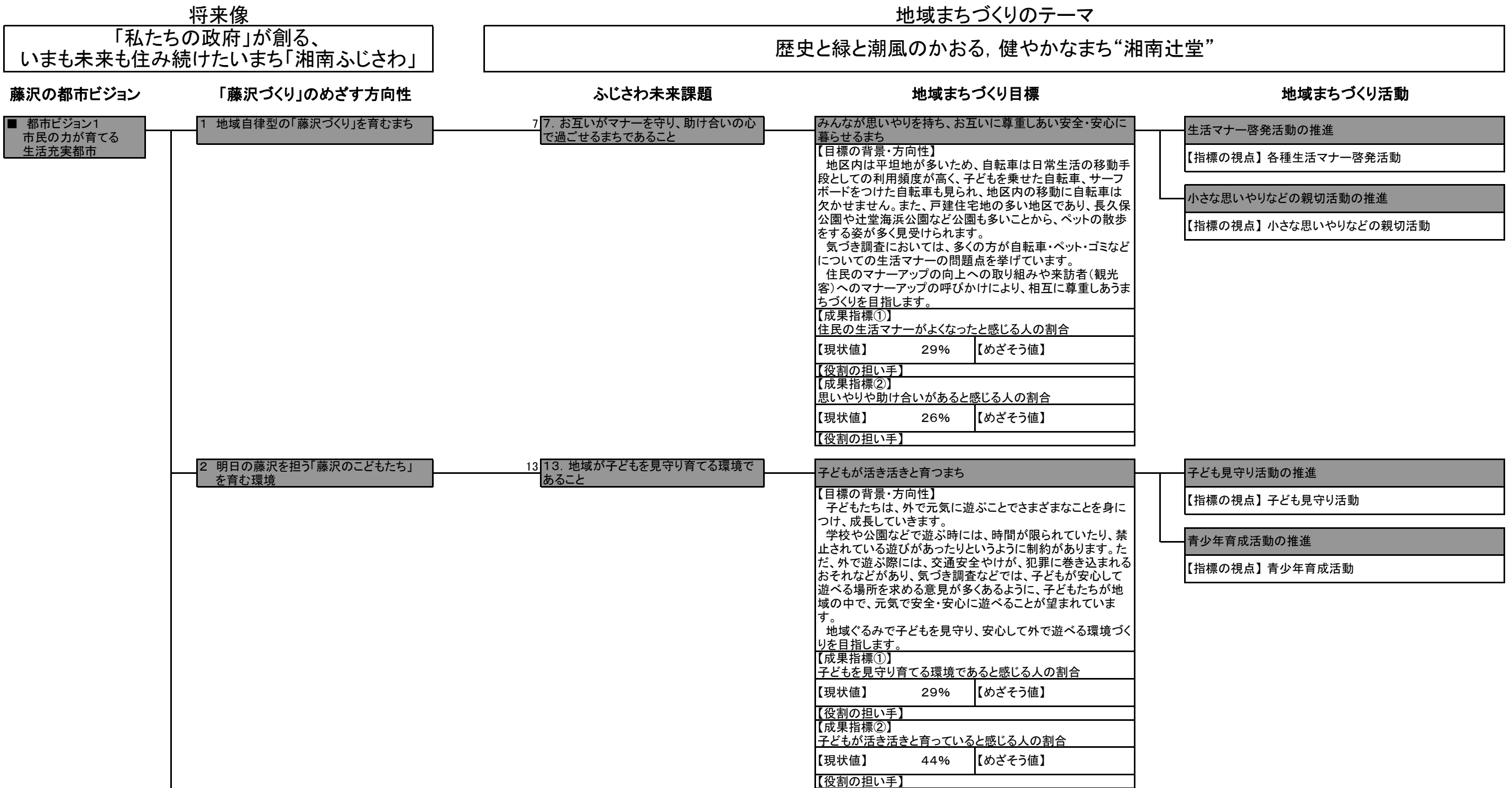
##### ○地域で活動する地域団体以外の団体等

- ・湘南みちくさクラブ

辻堂地区内で絶滅したハマボウフウの復活に取り組み、大磯海岸から種を採集し辻堂海浜公園の圃場で約3年かけて大事に育てた苗を湘南の海浜に移植をするという作業を行っている団体です。

- ・辻堂熊の森フラワーメイト

美化ネットふじさわに登録している団体で、辻堂駅南海岸線等の歩道の清掃と花の育成に取り組んでいます。





藤沢の都市ビジョン

「藤沢づくり」のめざす方向性

ふじさわ未来課題

地域まちづくり目標

地域まちづくり活動

3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

17 17. 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと

保健、医療、福祉が連携しあい、健康が維持されるまち

【目標の背景・方向性】  
住み慣れた地域で健康に生き生きと暮らしていくことは多くの人が日常的に望んでいることです。その実現のためには、保健、医療、福祉などの生活環境が整い、健康を維持し、地域での生活を続けていくための取り組みが必要です。気づき調査の結果を見ると、スポーツや健康維持の取り組みが望まれています。地域ぐるみで健康維持に取り組み、地域で健康な生活を続けていくための支援に取り組みます。

【成果指標】  
健康づくりを支える環境が充実していると感じる人の割合

【現状値】 36% 【めざそう値】

【役割の担い手】

身体を動かす習慣を普及させる活動の推進

【指標の視点】 身体を動かす習慣を普及させる活動

23 23. 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

人・まちのバリアフリーと福祉が充実しているまち

【目標の背景・方向性】  
地区内には特別養護老人ホームなど介護サービスの拠点となる施設がなく、各種の福祉施設や医療施設の充実や高齢者のサポート体制（食事の宅配等）の充実等が望まれています。公共施設等において段差などの危険を取り除き、課題67の道路の改善と合わせ、安心して出かけられるよう、まちのバリアフリーを進めます。さらに、ハード面のバリアフリーのみならず、子どもから高齢者まで全てのの人にやさしい心のバリアフリーを実現する取り組みを目指します。

【成果指標】  
福祉が充実し子どもからお年寄りまで守られていると感じる人の割合

【現状値】 21% 【めざそう値】

【役割の担い手】

バリアフリー改善活動の推進

【指標の視点】 バリアフリー改善活動

■ 都市ビジョン2  
地域から地球に広がる  
環境行動都市

4 共に生き、共に創る地域社会の創出

26 26. 子育て世代を支える環境が充実していること

安心して子育てできるまち

【目標の背景・方向性】  
辻堂地区は藤沢市全体と比較して14歳以下の比率が高く、今後も宅地分譲等が予定されており、子育てを支える環境の必要性がより高いと言えます。気づき調査の結果を見ると、保育施設や子どもの遊び場を望む声の他に、パトロールや子どもを大事にするまちづくりなど、地域に支えられて子どもが育っていくことを望んでいることがうかがえます。子育てを保護者だけが担うのではなく、地域で支えられて子育てができる環境づくりを目指します。

【成果指標】  
子どもを産み育てやすい地域であると感じる人の割合

【現状値】 45% 【めざそう値】

【役割の担い手】

子育て支援活動の推進

【指標の視点】 子育て支援活動

「藤沢づくり」のめざす方向性

5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

ふじさわ未来課題

35 35. まちと自然環境の調和がとれていること

45 45. 地域の未来の担い手が育成されていること

地域まちづくり目標

**みどりあふれる自然環境を保全するまち**

【目標の背景・方向性】  
 地区内には、引地川緑地や長久保公園等のまとまったみどりのほか、みどりの広場、保存樹林や一般の屋敷林など、市の木であるクロマツ(黒松)をはじめとした住宅地の中に点在するみどりも各所に残されています。また、きれいな海や川沿いの緑道も広がり、まちもこれらの自然環境と調和したものとなっています。  
 これらの自然環境は、日常生活に潤いをもたらすものです。このような貴重な自然環境を維持し、後世に残していくため、これからも、みどりあふれる自然環境の保全に努めます。

【成果指標】  
 地域のまちなみと自然環境の調和が取れていると感じる人の割合

【現状値】	38%	【めざそう値】
-------	-----	---------

【役割の担い手】

**地域ブランド情報を発信するまち**

【目標の背景・方向性】  
 気づき調査では地産地消・地域ブランドの確立を求める意見が挙げられていました。地域離れの改善策として、地域に対する興味を持ってもらうきっかけとして、これらは非常に効果があるものです。地域の誇りとなる地域ブランドは、地域への愛着を生み、地域の活動を活発にすることにつながるものです。  
 また、辻堂地区は湘南海岸や辻堂海浜公園でのイベントなど、外に向かってアピールできるものがありますが、地域ブランドも同じようにアピールできるものとなる可能性を持つものです。  
 地域ブランドの発信による地域への愛着の醸成と外部へのアピールを目指します。

【成果指標】  
 地区の良いところが広く発信されていると感じる人の割合

【現状値】	8%	【めざそう値】
-------	----	---------

【役割の担い手】

地域まちづくり活動

**みどりの保全に関する活動の推進**

【指標の視点】 みどりの保全に関する活動の実施回数

**地域ブランドの情報発信活動の推進**

【指標の視点】 地域ブランドの情報発信活動

藤沢の都市ビジョン

「藤沢づくり」のめざす方向性

6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

ふじさわ未来課題

49 49. 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

地域まちづくり目標

**美しい自然とまちなみを守り、育てるまち**  
 【目標の背景・方向性】  
 辻堂地区は、海、川があり、みどりが多く残る魅力あふれる地区です。気づき調査でも、海岸をきれいにすること、街路や植え込みの雑草やポイ捨てマナーについての指摘があり、自然環境と調和した良好な住環境を望む意識が高いことがうかがえます。きれいで快適なまちであるためには、行政による公共施設の維持管理だけでなく、市民による自主的な環境美化活動の推進が必要です。現在の良好な住環境が引き続き維持されるよう、行政、住民が一丸となった取り組みを進めます。  
 【成果指標】  
 地区の自然が守られていると感じる人の割合  
 【現状値】 32% 【めざそう値】  
 【役割の担い手】

**エコ活動に積極的に取り組むまち**  
 【目標の背景・方向性】  
 地球温暖化が進む中で、世界的にCO2の排出量の削減が求められています。世界規模、国家規模での大きな取り組みも重要ですが、地域やそこで生活する一人ひとりから環境に配慮した取り組みを積み重ねていくことも同じように重要なことです。エコ活動として、一人ひとりの生活の中でできること、施設や設備などについて簡単にできることなど、身近なところからエコ活動に取り組んでいきます。また、地区内では、工場跡地をエコタウンとしたまちづくりを進めていく構想もあり、地域が一体となってエコ活動を進めます。  
 【成果指標①】  
 住民の環境への意識が高いと感じる人の割合  
 【現状値】 31% 【めざそう値】  
 【役割の担い手】  
 【成果指標②】  
 ごみの分別や節電など環境を意識した行動をしている人の割合  
 【現状値】 94% 【めざそう値】  
 【役割の担い手】

**暮らしやすさを支える商店のあるまち**  
 【目標の背景・方向性】  
 辻堂駅北口の湘南C-Xでは大型商業施設の出店が進められています。一方で辻堂地区内には、駅前や辻堂東海岸などに住民の生活に密着した身近な商店街があります。大型商業施設との共存共栄を図るためには、今ある地元の商店街により多くの人々が集まり、より魅力的なものになるよう、さらに、日常生活を支えるものになるようにしていく必要があります。商店街を利用するきっかけを増やし、日々の暮らしが商店街に支えられるような地域づくりを目指します。  
 【成果指標①】  
 地区の商店街と大型店舗が共存共栄していると感じる人の割合  
 【現状値】 6% 【めざそう値】  
 【役割の担い手】  
 【成果指標②】  
 地区の商業に活力があると感じる人の割合  
 【現状値】 12% 【めざそう値】  
 【役割の担い手】

地域まちづくり活動

環境美化のための運動の推進  
 【指標の視点】 環境美化のための運動

風致地区の住環境を守る活動の推進  
 【指標の視点】 風致地区の住環境を守る活動

エコ活動の推進  
 【指標の視点】 エコ活動

商店街活性化イベントの充実  
 【指標の視点】 商店街活性化イベント

商店街の情報発信活動の推進  
 【指標の視点】 商店街の情報発信活動

■ 都市ビジョン3  
 さらなる可能性を追求する創造発信都市

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

64 64. 商店街と大型店舗が共存共栄し、活気あるまちになること

「藤沢づくり」のめざす方向性

ふじさわ未来課題

地域まちづくり目標

地域まちづくり活動

8 公共資産の維持管理と有効活用

67. 移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること

**人・自転車に優しい道路のあるまち**

【目標の背景・方向性】  
 地区内の大半が平坦地であることから、自転車の利用頻度が高く、特に、辻堂駅前には民間も含めて駐輪場が多いことから、通勤通学にも自転車が多く利用されています。地区内の道路は段差や凹凸などのある場所も多く、また、歩道が十分に整備されていない幹線道路もあります。バリアフリーの観点も大切にしながら、歩行者・自転車だけではなくすべての人が安心して通行できる道路の実現を目指します。  
 さらに、本地区は古い歴史やみどり豊かな環境を有しており、このような地域資源についての情報発信を進めます。

【成果指標】  
 地区の道路が誰にでも利用しやすい道路であると感じる人の割合

【現状値】	22%	【めざそう値】
-------	-----	---------

【役割の担い手】

**道路の問題箇所解消の推進**

【指標の視点】 道路の問題箇所の解消

**辻堂の地域資源についての情報発信の推進**

【指標の視点】 辻堂の地域資源についての情報発信回数

71. 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること。

**公共施設とサービスが充実しているまち**

【目標の背景・方向性】  
 地域活動を進めるためには、活動の拠点が重要です。しかし、地区の現状は、公共施設の老朽化や地域で提供する市民サービスの増加によるスペースの狭隘化、バリアフリーも充分でない施設もあり、駐車スペースも充分ではありません。市民サービスの満足度を高めるためには、地域拠点施設の充実が必要不可欠ですが、「公共施設マネジメント白書」によると公共施設の建て替えには膨大な資金が必要となり、極めて困難な状況です。  
 市民サービスの満足度を高めることを目指し、建て替えに限らない様々な手法や他の複数の施設の再編等、公共施設の機能を充実させるための検討を進めます。

【成果指標①】  
 公共の施設やサービスが充実していると感じる人の割合

【現状値】	28%	【めざそう値】
-------	-----	---------

【役割の担い手】

【成果指標②】  
 地域づくりに、様々な人が関わっていると感じる人の割合

【現状値】	22%	【めざそう値】
-------	-----	---------

【役割の担い手】

**地域拠点施設建替に伴う再編プランの提言**

【指標の視点】 地域拠点施設再編プラン提言に向けた活動

9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

79. 市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること

**伝統文化を保存・継承するまち**

【目標の背景・方向性】  
 辻堂地区は歴史あるまちであり、地域のお祭りが数多く開催され、また、お囃子、だんご焼きなど古くから継承されてきた伝統文化もあります。それらは、地域住民によって大切にされ、地域がまとまるきっかけともなってきました。  
 また、地域には、市民自らが歴史的な民具などを保存展示している資料館もあります。  
 有形無形のそれらの伝統文化を保存し、さらに充実させ、次世代へと継承していきます。

【成果指標】  
 地区の文化が継承されていると感じる人の割合

【現状値】	21%	【めざそう値】
-------	-----	---------

【役割の担い手】

**伝統文化の情報発信と伝承活動の推進**

【指標の視点】 伝統文化の情報発信活動

## 5 地域まちづくり計画等の進捗管理計画

この項には、「地域まちづくり計画」について、どのような体制で進捗管理をしていくかを掲載します。

## 6 地域情報

(1)地域独自イベント	1月	・賀詞交換会
	5月	・春の緑と花のまつり(長久保公園)
	7月	・諏訪神社例大祭(市指定の有形文化財である東・西・南・北の各町内の人形山車4台が町内を巡行し、四ツ辻に集まった後宮入りする) ・辻の盆(辻堂海浜公園)
	8月	・辻堂ファイト祭り(市民主催 会場土打公園等で辻堂地区の太鼓、山車等参加)
	9月	・敬老会 ・湘南しおかぜまつり(市民有志の実行委員会による。会場:辻堂海浜公園)
	10月	・辻堂公民館祭り
	11月	・秋の緑化推進まつり(長久保公園)
(2)市民ボランティア・NPOによるまちづくり活動	・湘南みちくさクラブ ・辻堂熊の森フラワーメイト	
(3)自治会・町内会による自主活動やイベント	1月	・さいと祭り(だんご焼き)
	7月	・諏訪神社例大祭(辻堂地区全体)
	8月	・辻堂東海岸夏まつり(東海岸1丁目から4丁目までの4つの町内会とプチモールひがし海岸商店会合同による) ・地引き綱 ・盆踊り大会
	12月	・神社(八幡神社、白山神社、八森稻荷神社)と町内会会館周りの年末清掃 ・年末防犯パトロール(12/28-30)
	随時	防犯パトロール、町内清掃、神社境内清掃、神社樹木の伐採
(4)藤沢市有形民俗文化財	○寛文6年庚申供養塔 宝珠寺の境内にある庚申供養塔 ○辻堂諏訪神社人形山車4台 毎年7月26日から27日の諏訪神社の例大祭に曳航されるもので、東町・西町・南町・北町の各町内会に保存されている。	

<p>(5)地域の歴史・文化的遺産等</p>	<p>○辻堂発祥の地 四ツ角(「四ツ辻」という説もある。)  ○さいと祭  ○神社等  ・諏訪神社  ・社宮神(田畑神社)  ・子ノ神社  ・白山神社(三島神社)  ・八幡神社  ・日枝神社  ・八森稻荷神社  ・八松稻荷神社  ・熊森権現社  ・御霊社  ○寺  ・宝珠寺  ・宝泉寺  ・阿弥陀堂  ○辻堂駅開設記念碑(辻堂駅南口にある、辻堂駅が地域市民により土地を提供し請願したことによってできた駅であったことを示す記念碑)  ○辻堂海浜公園(古くは幕府、戦前は海軍の演習場であった)</p>
<p>(6)次世代へ伝えたい地域の伝統</p>	<p>・祭り太鼓囃子  ・木遣り  ・さいと祭(だんご作り・だんご焼き)</p>
<p>(7)地域の寄付(請願)により設置された公共的施設</p>	<p>・辻堂駅  ・辻堂青少年会館  ・(旧)北町駐在所(交番)</p>
<p>(8)その他</p>	<p>○辻堂茂兵衛資料館(辻堂元町)  個人資料館。市民が有している農具、古文書等を展示保存している。  ○知永古美術館(辻堂東海岸)  江戸初期から明治にかけての伊万里焼、民具類等が収蔵されている。  ○伝承  ・浜辺の歌作詞場所(辻堂東海岸に歌碑がある。)  ・源頼朝の落馬  ○特産物  ・ながらみ(食用貝の一種)  ・ハマボウフウ(浜防風、セリ科の食用植物)  ・松露(ショウロ、食用キノコの種類)  ○その他  箱根駅伝(毎年1月2日往路、1月3日復路)</p>



## 7. 地域まちづくり計画図

この項には、このまちづくり計画のポイントを表す図を掲載します。